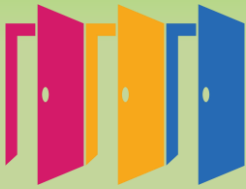
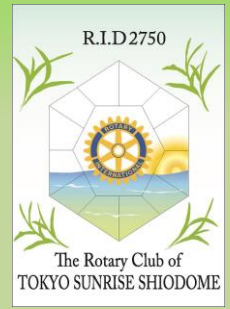


◆ WEEKLY REPORT ◆



ロータリーは機会の扉を開く
R.I.会長 ホルガー・クナーク

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2020-21 年度 会長 山本直道
クラブテーマ「MY TOKYO SUNRISE」

No.244 4. Mar. 2021 発行

第251回 例会

【日時】2021年2月25日(木) 12:30~13:30

【オンライン例会】

【例会出席】会員数 17名 名誉会員 6名 【出席者】11名 ビジター 27名 ゲスト 11名

【出席率】64.7%

《プログラム》

◇ 会長挨拶

司 会：立堀佳男会員
山本直道会長

本日は沢山のお客様に来て頂き本当に有難うございます。感染対策を十分にさせて頂いていますが、皆様には歓談は控えて頂き、例会を進めさせていただきたいと思っております。ご協力をお願い致します。

◇ 幹事報告

山本直道会長

2750 地区地区大会はオンラインで行われることになりました。5月26日です。

◇ 出席報告

立堀佳男会員

◇ ビジター・ゲスト挨拶

福原有一ガバナー：リアルの例会に参加させて頂くのは12月のガバナー公式訪問が最後だったように思います。こうして直接皆様にお会い出来て大変嬉しく思います。皆様には大変感謝申し上げます。本日の卓話も楽しみにしております。

武井恵美子様：私は大田区で子ども食堂をしております。皆様には多大なご支援を頂いております。この場をお借り致しましてお礼を申し上げます。有難うございます。

富倉進様：まずはサンライズ汐留の皆様にお礼を申し上げます。この様に素晴らしい例会に参加出来大変嬉しく思います。そして藤野さんの卓話に、そして子ども食堂にこれだけの方が興味を持って頂いて、本当に嬉しいです。単体のクラブだけでの支援には限界を感じていましたので、各行政やロータリー、支援団体が協力して進めていかなければならないと思っております。皆様どうぞよろしくお願い致します。

◇ にこにこBOX

大日方真会員

山本直道：今日は久しぶりの例会場での例会でニコニコです。藤野様卓話を宜しく申し上げます。

梅澤武男：藤野様卓話宜しく申し上げます。多数のビジター、ゲストの皆様ようこそおいで頂きました。

立堀佳男：今日は沢山の方が来て頂き有難うございます。官庁の入札シーズンで大きな物件が取れました！

アドリューウオ：本日はビジター、ゲストの皆様ようこそおいで頂きました。藤野様卓話宜しく申し上げます。

橋本年男：藤野様本日の卓話有難うございます。本日お越しの皆様方誠に有難うございます。

藤野直子様(名古屋名東 RC)：本日は卓話の機会を頂き誠に有難うございます。宜しく申し上げ致します。

猿渡昌盛様(武蔵府中 RC)：本日の卓話を楽しみにしてメーカーキャップさせて戴きます。宜しく申し上げ致します。

富倉進様(田園調布 RC)：有難うございます。

時園茂樹様(東京麹町 RC)：今日はメーカーキャップでお邪魔しました。藤野様の卓話楽しみにしております。

浅野公博様(田園調布 RC)：本日はよろしく申し上げます。

豊田有一朗様(田園調布緑 RC)：本日はよろしく申し上げます。

◆ 会長：山本直道 ◆ 幹事：熊谷行裕 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】山本教夫

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテル東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ 卓話 『子ども食堂を支えるRCC～子供の貧困・教育格差をなくすために～』

名古屋名東 RC 藤野直子様

子供の貧困についてどれくらいご存知でしょうか？ロータリー地域社会共同体(RCC)についてどれくらいご存知でしょうか？貧困には絶対的貧困と相対的貧困があります。相対的貧困はその国の文化的水準より生活水準は低い事を言います。日本は世界42カ国中21番目に子どもの貧困率が高く、大人の貧困率も3番目に高いのです。具体的な数字としては厚生労働省の発表では7人に1人の子供が貧困であり、一人親世帯の子供は48.1%にもなります。不十分な衣食住、栄養不足や虐待が多く起きています。子供達は自分で自分の感情や状況を上手く話せないで孤立していく事が多く不登校などを起こし、まともな職に就けず貧困の連鎖を起こしてしまいます。貧困の環境で育っている子供の親御さんもまた、貧困の環境で育っている事が多いのです。子供が今、勉強や部活を頑張るととてもお金が掛かります。いくらその子に才能が有っても親御さん懐事情で諦めざるを得ない状況に陥り、交友関係を持せず信頼関係を築けず子供時代を過ごしてしまうのです。非認知能力という事が言われるようになりましたが、IQなどで測るものではなく内面の力というもので、これは子供の頃に褒められたり認められたりする事により育つものなのですが、幼少期に怒られたり苦しんだ経験しかない脳が委縮してしまい育たないと言われていています。子どもの未来に大きく影響が出て来ます。現在の貧困は中々分かりづらくなっています。親御さんは朝から晩まで働いて体調も悪かったりしますので食生活も必然的に悪くなります。タンパク質、ビタミン不足で圧倒的に炭水化物でお腹を満たしているので肥満の子供が多いのです。1日の食事の内きちんとした栄養が取れるのは給食だけという子供さんがいらっしゃいます。本日お越しのだんだん子ども食堂代表の近藤博子さんが子ども食堂という命名をされいち早く活動を始められましたが、食事のみではなく、子供達が安心していられる場所の提供が出来る事も大切かと思ひます。子ども食堂は開設のハードルが低く、開設はすぐに出来るのですが継続が難しいので、その解決として横の繋がりを大切にしようという事で、我々がRCCを作りました。これはロータリアン以外の地域で活躍する方達とタッグを組んで活動するという事に意味が有ります。地域で活発に活動されている方々と連携が取れることにより、ロータリークラブとしても充実した奉仕活動が出来るのではないかと思います。私共が行った方法としては、愛知子ども食堂ネットワークが出来た時に代表の方と相談し、クラブ内の社会奉仕委員会として予算を計上しました。ガバナー事務所に結成を報告してRIからの認証を得ました。学習支援団、一人親支援団体、困窮支援団体の方々と連携を取るようになりましたので、少し形は変わってきましたので名称変更も致しました。RCCのメリットとして、何といたっても継続が出来るという事です。地域に根差した活動をされている方々のお陰で活動も活発になります。RCCを結成した事により、他のクラブでも活動をして頂ける様になりました。コロナになり厚生労働省から食事の提供を止めるようにとのお話が有りましたが、こんな時こそというところでフードパントリーや宅配弁当という形になりました。密を避け、外で配ったりしております。三位一体となればより活動しやすくなります。行政はこういう方々の情報を持っていて我々は地域で活動が出来、ロータリーは資金の提供が出来ます。システムが出来上がればとても良い形で活動が出来ていくと思ひます。負の連鎖の中の子供達に1人でも多く人生を変えてあげられるのではと思ひます。



藤野直子様



◇ 講評

山本直道会長

藤野様、有難うございました。負の連鎖を断ち切り、連携を持って活動することの素晴らしさを知りました。



山本直道会長



福原有一ガバナー



武井恵美子様



富倉 進様



バナー交換



山本会長 三浦眞一様



ZOOM 参加の様子

《今後の主な行事予定》

◇ 5月26日 地区大会

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 3月11日 12:30~13:30
- ◇ 3月18日 休会
- ◇ 3月25日 12:30~13:30